

発行日 2026年4月15日  
発行人 田辺 証夫  
編集人 小堀 日出春

# VOICE

NO. 141

LMI世界宣教会  
LMJapan  
振替 00110-1-91993

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

## 「宣教の働き」続けることが主のみこころ

LMI（リーベンゼラ）世界宣教会理事長  
田辺 証夫

宣教の主の御名を心からあがめて賛美いたします。日頃から、LMI世界宣教会（以下LMJ）の働きを覚えてお祈りくださり、尊い献げ物をもってご支援くださっている皆様に心より感謝申し上げます。LMJは2026年2月21日（土）に総会を開催しました。今総会は現代における世界宣教の厳しさを覚えさせられたと同時に、主あって失望させられることはないことを確信する時でありました。

VOICE139号でもお知らせした通り、様々な事情が重なったことから、笹川雅弘・由利子宣教師夫妻が本帰国することとなりました。またバングラデシュでの医療活動を望みつつ、N-ピザの取得を祈り願っておられた近藤恵医療宣教師も、ピザの取得が適わず、現地での働きを終了することが主のみこころと受け止めました。両宣教師ともに、2026年3月末まで宣教報告とご支援の感謝のご挨拶のために諸教会を訪問させていただきました。笹川宣教師夫妻はLMJ宣教師としての働きを終了、近藤医療宣教師は次の働きに導かれるまで休職扱いとなることを理事会で承認しました。よって、2026年4月以降、LMJ派遣宣教師はいなくなりました。総会では両宣教師、支える会からの報告をお聞きしました。これまで良くしてくださった主の恵みを数えつつ、一抹の寂しさを覚えることでした。円安が進み、物価が高騰し、世界情勢も厳しくなる中、それでも最後まで祈りつつ、誠実なご奉仕をしてくださった宣教師の皆様、支える会の皆様、そして熱い祈りと精一杯のご支援をしてくださった皆様に、誌面を借りまして心より感謝申し上げます。またこれまでLMJの働きを通して福音の種を受け取った人々が現地に、また世界にあることを覚え、続けてお祈りいただけましたら感謝です。

さて、今後LMJはどうなるのでしょうか。現実的に考えれば、暫くは海外への宣教師派遣は不可能に近いと言えます。けれども、私たちは、「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられ」（1テモテ2:4）ること、また、「御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来」（マタイ24:14）ことを信じて



ドイツのリーベンゼラ宣教団本部(LMI)。LMJは、LMIと連携を取りつつ、自主的に宣教活動を進めている

います。私たちの眼前にある状況は厳しくても、天地万物をお造りになった全能の神にあって不可能なこと、不思議過ぎることはありません。主が、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられる以上、私たちに委ねられている働きが残されているならば、これからも主のわざに携わらせていただきたいと願っています。

今後、LMJは近藤恵師を理事として、また、笹川宣教師夫妻を忠実に支えてくださった支える会副会長の高橋みづほ師を協力理事としてお迎えし、今後の宣教のために祈り、検討を重ねてまいります。これまでLMJを通して派遣されたニューヨーク、バングラデシュ、モンゴル元宣教師、また支える会や派遣教会としての中心的な働きを担ってこられたメンバーが多くご奉仕くださることは何とも心強いことです。主が理事会をどのように用いてくださるかに期待します。また、新たな可能性として、宗教法人リーベンゼラ日本宣教団と協力しながら、国内宣教師派遣についても取り組んでまいります。

以上、世界の情勢は益々混沌とし、見通しの立たない状況にありますが、私たちはこの働きを続けることが主のみこころと信じて、今後も活動してまいります。総会において「これから益々祈りが必要です」との発言がありました。どうぞこれからも、LMJの働きのためにお祈りください。また主が働き人を召してくださった時、直ぐにお応えすることができるよう、続けてご支援いただけましたら幸甚です。皆様の上に主の豊かな祝福をお祈りしつつ。

(みなみ野キリスト教会牧師)

# 「福音の種」結実信じる

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師  
笹川雅弘・由利子

## 春のゴスペルワークショップ開始

1月に急逝されたTimさんの記念礼拝がアメリカ(3月)、ドイツ(3月)、日本(3月)の3か国で行われた後、長年、Timさんと共にゴスペル伝道を行ってきたGregory Kellyさんの指導のもと、3月17日に春のゴスペルワークショップが開始されました。参加締め切り直前の登録人数は、大人30名、子ども22名でした。リッジウェイ教会と近隣アメリカ人牧師の厚意と協力により、今後も従来通りこの活動を通して多くの求道者に福音のメッセージが届けられます。

## 継続されていくその他の活動

ゴスペル伝道以外にも、月に一度の伝道家庭集会、週に一度のオンラインバイブルスタディなど、これまで行われてきた集いは信徒がクリスチャンリーダーになって継続されています。牧師が帰国することになっても、突然かけがえのない主の器が失われても、聖霊によって励まされ継続されていく主のあかしの数々に、主のみわぎを実感しています。そして皆様の変わらない祈りとご支援は今後も信徒たち主導の宣教体制として生かされていくことを確信し御名をあげます。私たちは4月以降も個人的に彼らの活動を支援していく予定です。



NYめぐみ教会で定期開催した「英語で聖書を学ぶ求道者クラス」。「蒔かれた福音の種が実るように」

## 諸教会訪問の恵みと感謝

昨年の帰国から約半年間、計25か所で宣教報告をさせていただき、主の驚くべき恵みのみわぎを分かち合いました。本当はすべての支援教会で宣教報告をさせていただきたかったのですが、時間の制限上足を運

べなかった諸教会の皆様には心からの感謝とともに深くお詫び申し上げます。

一つぜひ覚えていただきたいことは、皆さんが今まで祈り支援してくださったからこそ宣教師帰国後も継続される宣教活動があるということです。この数年間に累計百名以上の求道者へ蒔かれた福音の種、

そしてこれからも蒔かれ続ける福音の種が時満ちて実を結ぶことのために皆さんがささげてくださったご支援は今後も主にあって用いられ続けます。主のそのみわぎは今後さまざまな形で皆様の上に祝福となって返ってくることでしょう。栄光在主！



主が最善をなして下さることを信じ、ニューヨークを後にした笹川夫妻



NYめぐみ教会の最後の主日礼拝後、出席した教会員たちと記念撮影した=2025年6月22日

## 支援献金の受け取り窓口について

私たちの後任が現時点で立てられていないため、在米邦人宣教支援献金の呼びかけは3月末日をもって終了いたしました。ただ、LMJの献金受付窓口は4月以降も受け付けています。今後のLMJの働きのために継続して献金して下さる方は、今までと同じ振込用紙を用いて同じ口座へご送金ください。

### 【祈りの課題】

- これまでNYめぐみ教会の宣教活動を通して多くの求道者の上に蒔かれた福音の種が時満ちて信仰となって実を結ぶように。
- 日本人宣教師不在となった後もNYめぐみ教会員および現地のクリスチャンたちが日本人宣教のために行う活動が実りあるものになるように。
- 笹川雅弘宣教師の帰国後の教会訪問が祝福され主のみわぎの証しとして用いられるように。

# 御声に従って

バングラデシュ医療宣教師  
近藤 恵

春ですね。みなさまお元気でお過ごしでしょうか？この原稿がバングラデシュ医療宣教師としての最後のVOICEになります。この約20年間の歩みを振り返ろうと思います。

2008年10月15日バングラデシュに第1期として行きました。暑さにも、アリの大群や、蚊の絶え間ない攻撃にも悩まされました。2009年の春には、デング熱にかかり、経験したことのない疲労感に苦しみました。

2009年の10月からは、バングラデシュの北西、ディナジプールにあるLAMBホスピタルで働き始めます。経験したことのない病気の患者さんたちに戸惑いつつ、周囲の協力を得つつ、懸命に働きましたが、使いものならず解雇通告を受け、2010年の5月、ダッカに戻ってきました。昼間から寝ているほど疲れていた私にドイツ本部からリーベンゼラUSAに行くようにすすめがありました。アメリカではドイツ人の元宣教師であるフーゲット夫妻や、シスター・マリアに出会い、たくさんのなぐさめを得ました。

2010年の8月末バングラデシュに戻ります。そして不思議にジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルに導かれ、11月から働き始めました。この病院の手術室師長ヘニカ・ディディは、「私たちね、祈ったの、そしてあなたが来たの。あなた神様が連れてきてくれたんだわ」と言ってくれました。院長のドクター・タポシュとドクター・ルーシー夫妻は、慣れない私を本当によくサポートしてくれました。

2011年の9月末、1期を終え帰国。多くの教会を訪問しましたが、「LAMBホスピタルを解雇されました」という証しをするしかなかった私を、みなさんは温かく迎えてくれ、この時間がさらなる癒しとなりました。

2期目では、1期目の時には躊躇していた、ひどい



①喜び感謝しつつ働いた近藤宣教師＝2013年9月、ジョイランクーラで  
②2015年2月、OCCで行われた第3期派遣式で挨拶礼を受ける近藤宣教師



虫垂炎や総胆管結石の手術（胆のうの石だけの時より、難しくなります）にも手をだすようになりました。

3期目の2016年7月1日には、ダッカで日本人7人を含む20人の外国人が殺されたイスラム過激派によるテロが起きました。他にも宣教師を狙った事件もあり、自分もターゲットになりうるということを実感しました。

4期目では、広範囲のやけどを負った3歳のクランティがやってきました。苦勞しましたが、半年かかって植皮を終えて帰すことができました。

コロナ渦の中で戻った5期目の終わりごろ、「主がお入り用なのです」ということばを、主からのものと信じ、働きを続けようと思いました。その後、結局長期のピザを得ることができず、2025年の6月、バングラデシュでの働きは閉じるということを実感し、LMI世界宣教会の理事会で承認されました。

この稿だけではお伝えしきれませんが、困難はありましたが、本当に多くの恵みを与えられてきました。それは、みなさまのお祈りがあったからこそのものだと思います。長い間、祈りとささげもので支援し続けてくださったことを、心から感謝します。

4月からは、神学校で聴講しつつ、御声に従って歩もうと思います。



第4期派遣を決めた自治医大前キリスト教会の教会員から拍手で送りだされる近藤宣教師＝2017年6月8日

## 【祈りの課題】

- ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルが、イスラム教の国で、良い証となり続けることができるように。
- 4月からの歩みのために。
- 母と姉の救いのために。

## たくさんの祈りと献金、ありがとうございました

近藤恵姉が医療宣教師として召しを受け、全国の兄弟姉妹に支援を求めてから20年が経ちました。この間のみなさまの計り知れないご支援に心より感謝申し上げます。近藤宣教師のための献金受付は3月末で閉じました。

### 【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

## 世界宣教としての地域宣教

神奈川県横浜市にあるかもい聖書教会に2010年に遣わされて以来16年間、LMI世界宣教会(LMJ)の理事会で奉仕する恵みに与りました。当時からかもい聖書教会は、NY邦人宣教師として遣われた立石尚志・聖美宣教師ご夫妻の派遣教会であったため、かもいの牧師に招聘されたということは、立石宣教師夫妻を支える会で奉仕すると共

に、必然的に(?) LMJの働きにも加わるのだと言われたためです。弱弱しい自覚から始まった私の世界宣教への奉仕でしたが、携



わらせていただくことを通して、実のところ地域教会で奉仕することと世界宣教は切っても切れない関係にあるのだということ

を学び続ける機会となりました。世界宣教は、主の召しを受けた宣教師が、その思いを教会に証しくださることを通して、祈りと協力の輪が広がっていきます。こうして諸教会の働きとしての世界宣教となり、豊かな実りとなってい

くのです。仮に宣教師個人の賜物や、資産家の個人的な援助だけでは、継続は難しいでしょう。教会の祈りが最前線の働きに直結していることを、私は間近で見させていただきました。

横浜市緑区鴨居でのローカルな働きも、世界で成されている主の働きの一つなのだという視点も養わされました。宣教が困難な時代には、まず自分を満たそうとして視野はどんどんと狭まりがちですが、むしろ豊かに与える、送り出す、捧げる、献身する、といった働きに微力と自覚しながらでも教会が携わる中で、主の働きとしての地域宣教および世界宣教が同時に進められていくこととなります。

2026年4月に教会を転任することを通して、LMJ理事会での働きも離れることになりましたが、この16年間、「受けるよりも与える方が幸い」(使徒20:35)とのみことばの真実をあらゆる場面で教えられる期間となりました。主の恵みに感謝しつつ。

(熊久保公義・元LMJ副理事長、現川越聖書教会牧師)



LMJ年次総会で近藤恵医療宣教師(左)の宣教報告を記録する熊久保師(右)。熊久保師は理事会や総会の忠実な書記としても活躍した=2026年2月21日、かもい聖書教会で



佐藤かおり  
LMI世界宣教会会計事務

### 主こそ全ての困難の答え

かもい聖書教会がLMJ事務所となり、安藤真里姉妹と私が事務会計を始めたのは、ニューヨーク邦人宣教が立石師ご夫妻から笹川師ご夫妻にバトンタッチする節目の時でした。

笹川師ご夫妻は、コロナ禍の影響で、渡米前のデビューションについて難しい判断が必要でした。渡米後も円安や物価高の不安定さの中にあいました。近藤師もバン



その後、笹川師ご夫妻はNYへ、近藤師はバンングラデシュへ赴任されました。それぞれ現地から理事会・祈禱会には、便利なツールとして急速に広まったZoomで参加されるようになりました。そのため、お顔を見ながら祈禱課題をお聞きし、共に祈る幸いな時間を過ごすことができました。

海外宣教の召しは、決して平坦な道ではなく、ヒザ取得の困難もあり、答えが直ぐに与えられないことを間近で拝見しました。しかし主こそ私たちの全ての困難の答えであり、真の宝であり、希望です。

4月、近藤師と笹川師ご夫妻は新しい一歩を踏み出しました。またLMJ事務所もかもい聖書教会からみなみ野キリスト教会に移転し、事務会計も引継ぎます。今後もLMJが宣教の働きに用いられるよう、お祈りとご支援をよろしくお願い致します。

(かもい聖書教会員)

## LMI世界宣教会 (LMJ)

(LMJ 本部& ☎192-0916 東京都八王子市みなみ野5-14-4(みなみ野キリスト教会気付 ☎ 042-635-8134)

献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」 Mail: LMJ@outlook.jp

[常任理事] 田辺証夫(理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com) 村上正道(副理事長&会計) 立石聖美(書記) 近藤恵  
グロース・アンドレアス(LMI担当) 小堀日出春(Voice編集) [協力理事] 木島正敏 立石尚志 兵藤陽子 高橋みづほ

[監事] 小倉泉、佐藤陽一 [会計事務] 田辺恵子